

だんせいせいしんかきゅうきゅうせいきいりょうにゆういんりょうびょうとう いったん いしつ えいきょう  
—「男性精神科救急急性期医療入院料病棟において一般ゾーンへの移室に影響を  
およ よういんこうもく きょうりよく ねが  
及ぼす要因項目」へご協力のお願い—

### 1) 研究の背景および目的

近年の精神医学と看護においては、社会的な価値観が変化し、個人の権利を尊重する方向に向かっています。この変化に伴い、行動制限を最小限に抑えることに対する関心が高まっています。行動制限の緩和には、病状だけでなく、看護師の主観的評価も影響を与えることが指摘されています。そのため、マニュアルの開発が進められています。しかし、部屋の移室時期を判断する基準や指標が不足しており、看護師の意見の多様性が葛藤を生むこともあるため意見の一致が難しいことがあります。

精神科救急急性期医療入院料病棟では、患者の回復状況だけでなく、緊急入院患者の受け入れをする必要性から、時には「急を要する部屋移動」が必要とされる場合があります。ただし、この移室後に精神症状が再燃するリスクもあることに注意が必要となります。

このような背景から、患者の状態に基づいて、適切な病室への移動を判断する客観的な指標の開発が必要であり、これによって適切な環境整備とサポートが提供され、患者の生活の質が向上する可能性があります。

### 2) 研究対象者

2018年10月1日～2023年1月31日の間にさわ病院B3病棟救急観察ゾーンにおいて入院治療を受けられた方1000名を研究対象とします。

### 3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2024年3月31日

### 4) 研究方法

B3病棟救急観察ゾーンにおいて入院治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにデータを収集し、移室に関する分析を行い、移室に成功した人と失敗した人で入院時の情報が移室に影響を与えているのかを調べます。

### 5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・ 年齢、性別、入院形態、主病名、生活歴、嗜好歴、違法薬物の使用歴、入院歴、結婚歴、

日常生活自立度調査、暴力の有無、移室状況

使用開始予定日：2023年10月1日

## 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

社会医療法人北斗会さわ病院

氏名：伊東 聡史

電話：06-6865-1233（平日：9時0分～17時0分）

### <研究組織>

研究機関名 社会医療法人北斗会さわ病院

研究責任者 看護部 伊東 聡史